

新・子ども向け虐待防止啓発リーフレットを作成しました ～将来子育て世代になる学生と協働による取り組み～

町田市では、子どもへの啓発によって、潜在的な虐待ケースの掘り起こしと、虐待の未然防止を目的として、新たに、学生と協働で虐待防止啓発リーフレット「虐待って何？」を作成しました。

児童虐待の相談件数は全国的に増加しており、町田市においても、毎年最多を更新していますが、子ども自身からの相談件数は少ないため、子どもへの啓発が求められています。

小学生に近い立場であり、また、将来子育て世代となる学生の視点をリーフレットのコンセプトやデザインに取り入れることにより、子どもの興味を引き、虐待のことを知ってもらうことで、子どもからの相談件数を増やし、虐待の防止に取り組みます。

■ 協働作成者:さがまち学生Club※の学生6人(相模女子大学:4人、女子美術大学:2人)

※さがまちコンソーシアム(正式名称:公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム)の事業内容の一つで、相模原・町田地域の学生が地域の活性化をテーマに、まちおこし活動を企画・実施していく学生主導型体験プロジェクトです。

■ コンセプト 子どもに「虐待」のことを知ってもらう

子どもに相談できる場所を知ってもらう

■ 配布対象及び時期: 2019年4月から、市内の公立・私立小学校4年生約5,000人に配布

■ リーフレットの概要

形状:A5版、4ページ、オールカラー

虐待が持つ「暗い」イメージを表表紙に、相談できることを知った時の「明るい」イメージを裏表紙で表現しました。

※各子どもセンター及び小学校に掲示するためポスターも作成しました。